

今月のテーマ 『経済と地域社会の発展月間』

第1449回例会

2016年10月13日 Vol.31/No.13

■本日の例会 / 第1450回 平成28年10月20日(木)

- 会長・幹事報告
- 各委員会報告……各委員長
- 会員卓話……木村聡之 会員、岡田圭史 会員

【出席率状況報告】

- ・会員数 ……………54名
- ・出席者 ……………34名
- ・欠席者 ……………20名
- ・出席率 …………… 62.30%
- ・9/29の修正出席率…73.58%

■会長挨拶



会長 香川美穂子

こんにちは！10月は「経済と地域社会の発展月間」となっています。ロータリークラブは職業人の集まりで、職業奉仕ひいては社会奉仕が大黒柱のクラブ活動ですから、仕事に精を出せば、自ずと経済と地域社会の発展に貢献し社会奉仕につなぐ事が出来る訳です。

ですからクラブ活動もまずは仕事優先とし、余力のエネルギーをクラブの活動に向けて頂きたいと思います。皆さん当然ご理解と思いますが、職種によって自由にできる時間の采配は違って来ます。夜のお仕事の方は夜のクラブ活動へのご参加は厳しいでしょうし、私の様にホール経営となりますと皆さんがゆっくりなさる週末は仕事で潰れます。又社内の立場からも自由に差配出来る事は違ってくると思います。ですからそういう事すべてをお互いが理解・尊重しあって行事や活動への参加を見守って頂きたいと思います。それでこそ「お互いを思いやるロータリアン」であり「人類へのサービス」です。

先週手元に届いた「ロータリーの友」10月号「友愛の広場」に宇治の方が「ロータリーの変化」と言う題で「ロータリーの事業のために自分の仕事に支障をきたすことはあってはならない。私達はいつも職業奉仕について考える事が必要です」とありました。また次の頁には、丸亀の方が「ロータリーらしさとは」との題で「ロータリーにもロータリーらしさが必要。ロータリーらしくするには基本を守れば良いのです。具体的に言うと①例会時に規律を保ち緊張感を持った例会運営をする②むやみやたらに例会変更はしない③例会とリフレッシュを混同してはならない④夜間例会のお酒が入る席でも品位のある例会運営をする⑤例会においては、ためになる実のあるプログラムを

組む等ロータリーにとっては当たり前のことばかりです。時には初心に帰り現状を「4つのテスト」に照らしてロータリーを顧みる事が必要かと思えます。」と書いておられ、なんだか胸がスカッと致しました。

現代の世の中「当たり前」と昔なら言えた事が当たり前ではなくなり、話が通らない事が起きます。日本人なら当然親から教えられているはずの事柄が教えられておらず、ギクシャクする関係ができていたりします。今年のRIテーマ「人類に奉仕するロータリー」を幅狭く考え日本民族としてとらえた時、我々日本人はどう子孫に日本人の心を伝えていくべきか？子供達にどうあって欲しいのか？社会の最小単位としての家族として、良いもの悪いもの、伝えていくべきもの残してはならないものをよく考え選別して子供達を育てて行きたいものです。そしてその重要な担い手は夫婦の中でも母親の存在であり母親の手腕です。私は今日本に一番必要なことは女性教育だと思っています。それは学問の分野ではなく「母親」としてのつとめ・存在についての教育です。ここがきちんとしていないと子供がきちんと育ちません。子供がきちんと育たないと家族が崩れ社会が崩れます。どこかでストップをかけて本来日本人なら当然であった「当たり前」を呼び戻したいと私は考えております。そしてそこにロータリアンの協力を得られるような道がつけられればと願っています。それが地域社会への貢献であり発展へとつながると思います。

■社会奉仕委員会

委員長 渡邊 勝



「ひむかかるた」についてのお知らせ、お願いです。本年度も、来年2017年2月18日(土)に、宮崎公立大学体育館において、「第

10回「ひむかかたる競技大会」が開催されます。  
この「ひむかかたる」の発展、普及の為、本日、例会受付にて、皆さまに1セットずつ、「ひむかかたる」をお配りさせていただきました。ぜひとも、お家庭や会社などで、少しでも、ひむかかたるの輪を広げていただきたいと思います。よろしくお願いたします。

■フェロシップ委員会 委員長 西橋龍博



11月24日に、かぐら月(夜間例会)を行います。場所はまだ未定ですが、開始時間は前回と同じ18時30分になります。前回よりも皆さんが楽しめるよう進化させていきますので、どうぞご期待ください。

今期は夜間例会が多く設定されています。年間スケジュールはクラブ活動計画書に載っていますのでご確認して下さい。因みに、年度末家族懇親会は6月28日に変更になっています。

■ゴルフ同好会 副委員長 岡田圭史



10月10日に第1回宮崎中央RC香川会長杯がございました。さわやかな風に静かな波の音、そして最高の星空。そんなロマンチックな夜、男達の叫びにも似た笑い声がトムワトソンGCに響きわたりました。楽しい夜でした。

■会計・監査報告 前会計 長岡紀行



2015年7月～2016年6月までの会計において一般会計・特別会計の監査にあたり、通帳と支出証明書に相違ありませんでした。

■ゲスト卓話 IJF オリンピック審判員



全日本柔道連盟 審判委員会  
副委員長 大迫明伸 様  
皆さん、こんにちは！

28年前、ソウルオリンピックでは応援頂きありがとうございました。28年前のことです、2回前のオリンピックのメダリストでも覚えていないくらいですから、すっかり忘れておられると思います。では少しづつ思い出して頂きましょう！現在スポーツ庁々官の鈴木大地氏が

バサロ(潜水泳法)で金メダルを獲得したオリンピックです。少し思い出しましたか？小谷実可子氏がシンクロナイズドスイミングで銅メダルを獲得したオリンピックです。私と同じ日でした。翌日の新聞を選手村で見たら見開きで「実可子、銅に叶った!!」と書かれていた、ず～と下の欄に3行「大迫、大健闘、それでも銅」と書いてありました。銅をとっても「銅したんだ、銅になっているんだ日本柔道」と書かれ、メダルが取れないと「銅にもならん」と書かれましたが、最終日に斎藤仁氏が涙の金メダルを獲得してくれました。だいふ思い出して頂けたのではないのでしょうか？

今回は、私たち家族が歯の治療でお世話になっている新田歯科医院長のお誘いで、皆様に柔道の話を見せて頂く機会を頂きました。本当にありがとうございます。普段柔道を見ることもないでしょうし解らないことも多いと思いますが、約20分ほどお付き合い宜しくお願いします。

さてリオオリンピック、日本柔道は素晴らしい活躍を見せてくれました。実は、前回のロンドンでは不名誉な記録を残していました。それは1964年からオリンピック種目として柔道が採用されて以来、初めて「男子柔道金メダル無し」に終わったのです。メダルは銀1個、銅3個と7階級で4階級でメダルを獲得したので、そう悪い訳ではありませんが、やはり柔道発祥の国「日本」としては非常に残念であり、「いずれ金ゼロの日が来るかも知れない」という我々がXdayと言った恐れたことが現実になった時でもあったのです。このまま2～3回のオリンピックで金メダルが取れないと海外の柔道界から日本は怖くない、対したことはないと思われる。そうなると益々復活が厳しくなる。そうならない為にも今回の、リオオリンピックでV字復活を遂げて欲しいと願っていました。

そしてリオオリンピック、日本チームは素晴らしい活躍でしたし、男子チームは全階級メダル獲得という新記録を残しました。全体でも金メダル3個、銀1個、銅8個で合計12個のメダル獲得は、2位フランスの5個、3位ロシアの3個に大差をつけて世界1位でした。さて、メダル獲得国を見ると金メダル14個を10か国で獲得、金・銀・銅メダル56個を26か国が獲得しています。一部の強豪国が独占するのではなく、多くの国がメダル

発行/宮崎中央ロータリークラブ

●事務局 〒880-0804 宮崎市宮田町10-25 宮田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288  
●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30～13:30)  
会長/香川美穂子 副会長/三輪修珍・田中 寿 幹事/江藤敬治